

2026 年度 第 2 回 運営推進会議

【事業所名】 特別養護老人ホームわかばイースト

【開催日時】 2026 年 7 月 21 日(火) 10：00～11：00

【開催場所】 特養わかばイースト会議室

【参加者】

出席者の状況	委員（職種）	（お客様代表）	（ご家族様代表）
		（地域の方代表）	（由利本荘市地域包括支援センター）
		（第三者委員）	（知見を有する者）
	職員（役職）	（特養わかば施設長）	
		（わかば会障がい統括）	
		（特養わかばイースト施設長）	
		（特養わかばイースト介護主任）	
		（特養わかばイースト生活相談員）	

【目的】

地域密着型サービスにおける運営推進会議は、事業者が提供するサービス内容を明確にし、地域に開かれたサービス運営を通じてサービスの質を確保することを目的としています。

◎活動状況報告

1. お客様利用推移

2026 年 6 月～2026 年 7 月

	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
6 月	8	13	8	29
7 月	8	13	8	29

平均年齢： 90 歳 最少年齢 70 歳 最高年齢 101 歳

男女比率： 男性 7 名 女性 22 名

平均介護度： 4.0

◎サービスの質の向上にかかる事項

2. ヒヤリハット、事故、苦情について

	6 月	7 月	合計
ヒヤリハット	5	2	7
事故	5	4	9
苦情	0	0	0

●6 月 事故（転倒・転落 3 件、トラブル 1 件、与薬 1 件）

- ・ 18 時半頃、リビングで車いすに乗っていたが、他のお客様のトイレ介助後にトイレから出ると、車椅子から降りたようで四つん這いで移動されていた。ユニット間で連携して見守りする事とした。
- ・ 14 時半頃、歩行器の方、トイレに向かうため、立ち上がった際に足がもつれてしまい転倒する。外傷等確認するがなかった。体動センサー使用とコールで呼んでほしい旨を伝える。
- ・ 18 時頃、車椅子に乗っていたが、物を取ろうとして転落してします。眠気と血圧低い時は離床を控えることを徹底する。
- ・ 16 時頃、リビングにてレースカーテンをしていたが「眩しいと怒りだし」、他のお客様を叩く。ユニット間で連携して見守りする事とした。
- ・ 9 時半頃、薬袋を回収した際、薬箱入れのカゴに、薬が落ちていた。対象者が 2 名いたため判明できず服薬マニュアルを再度周知した。

●6 月 ヒヤリハット（転倒・転落 1 件、誤飲 1 件、与薬 3 件）

- ・ 対策済みの方が、ベッド脇の転落防止マットレスに降りられたがセンサー反応なかった。
- ・ 共有の洗面台に置かれていた、ポリデントが入っていたカップを飲もうとしていた。
- ・ 洋服に薬が 1 錠くっついていていた。
- ・ 食前薬が増えたが、飲ませ忘れあり。
- ・ 定時の点眼薬対象者であるが、点眼薬の封がされたままであった。

●7月 事故（転倒・転落4件）

- ・1時半頃、居室から物音が聞こえて駆け付ける。ポータブルトイレを使用する際にズボンを下げた時にバランスを崩し転倒された。痛み等はなかった。人感センサーを設置した。
- ・5時半頃、歩行器の方のトイレ誘導後に喉が渴いたと話された。冷蔵庫に飲み物を取りに行った際に立位安定していたが転倒される。眉に切り傷あり。車椅子全介助で対応とした。
- ・17時頃、ご本人様が居室のカーテンを閉める際に転倒してしまい脇腹を打ってしまう。湿布にて対応。体調が悪い時はコールで、呼んでほしい旨伝える。
- ・19時半頃。トイレより、「ドン」と聞こえたため、行くと転倒されていた。頭部（おでこ）を打たれたよう。その後、異常は見られなかったこと。男性介助厳禁の方であったが、ご本人様の了承のもと現在は介入する。

●7月 ヒヤリハット（誤嚥1件、情報共有不足1件）

- ・最近、食事中に咽込みがみられるようになった。
- ・採血予定者の申し送りが途切れてしまい食事をしてしまった。

●施設としての今後の対応

- ・事故報告書については、今後「直接要因」だけでなく「背景要因」を分析し、個人の注意不足だけではなく仕組み改善につながるよう見直ししていく。
- ・ヒヤリハットを活用した事故予防の強化を進めていく。
- ・認知症ケアの質向上
- ・お客様との信頼関係を大切にしたいケアの継続

3. レクリエーションと行事

6月	レクリエーション・行事
1日	イーストエリア開設6周年記念式典
11日	ミュージックケア
22日	お団子レク
7月	レクリエーション・行事
7日	七夕
9日	手遊びボランティアレク、ハーモニカ演奏、紙芝居
16日	和菓子（練り切り）作り

- ・施設インスタグラムを開設し、行事等の様子を発信していることを報告。

4. 研修・勉強会

●6月 勉強会

- ・プライバシーの保護の取組に関する研修
- ・倫理及び法令遵守に関する研修
- ・職場におけるハラスメントに関する研修
- ・感染症・食中毒の予防及びまん延防止に関する研修

●6月 外部研修

- ・地域密着型事業所集団指導
- ・地域ケア会議
- ・認知症実践者研修
- ・科学的介護情報システム（LIFE）研修会
- ・完全初心者向け LIFE セミナー～はじめてのデータ入力・登録～
- ・カスハラ対策
- ・生産性向上に向けた研修会
- ・BCP の効果的な運用に向けた研修会
- ・甲種防火管理者新規講習

●7月 勉強会

- ・ユニットケア研修
- ・口腔ケアについて①

●7月 外部研修

- ・地域ケア会議
- ・認知症実践者研修
- ・痰吸引等研修手技確認講習
- ・喀痰吸引実地研修
- ・高齢者対応力研修
- ・介護情報公表サービス調査員養成研修

5. 職員の状況

- 介護職員・・・・・・・・・・14名 介護福祉士・・・・・・・・・・9名
実務者研修修了・・・・・・・・・・1名
初任者研修修了・・・・・・・・・・4名
- 看護師・・・・・・・・・・2名
- 機能訓練指導員・・・・・・・・・・1名（看護師）
- 生活相談員・・・・・・・・・・1名
- 管理栄養士・・・・・・・・・・1名
- 管理者兼介護支援専門員・・・・1名

6. 委員会

・虐待防止検討委員会

部門会議、ユニット会議、リーダー会議等で不適切ケアにあたる事例はなしと確認する。

・身体拘束廃止委員会

部門会議、ユニット会議、リーダー会議等で不適切ケアにあたる事例はなしと確認する。

・見守り機器等活用委員会

お客様の転倒予防等の対策のため、体動・離床センサーを活用し、定期的にカンファレンスを開催し、生活リズムの把握に努めている。

定期的にお客様・職員向けのアンケートを実施し、負担軽減と夜間の休息時間の確保のための業務の流れを検討。

機器の不具合等がないよう、定期点検を実施。

7. 地域の皆様からのご要望 ご助言

- ・職員と利用者との良好な関係性が施設の安心感につながっていると感じた。
 - ・ヒヤリハットを積極的に活用し、事故防止につなげてほしい。
 - ・災害時対についても継続して訓練・研修を実施してほしい。
 - ・お客様、職員と一緒に楽しみ、笑顔で過ごしている様子が印象的だった。日々の介護は大変なことも多いが、一緒に笑いあえる時間は利用者・職員双方の励みなるため、今後も大切にしてほしい。
 - ・夏季は脱水や室温管理、体調変化への気づきをさらに大切にしてほしい。
 - ・認知症ケアでは、小さな気づきや成功事例も共有しながらケアの質向上を図ってほしい。
 - ・「見守り強化」だけでなく、認知症の方への関わり方や声掛けなども共有すると良い。
- ・あらまつりが10月25日開催予定であり、地域と繋がるイベントとなる。ぜひたくさんの方へご参加いただきたい。